

一村産業株式会社

◎ 事業所概要

企業名：一村産業株式会社

代表者氏名：代表取締役社長 藤原 篤

所在地：金沢市

業種：卸売業

労働者数：125人



◎ 行動計画

1 計画期間 平成27年4月1日～平成30年3月31日

2 内容

- 目標1 育児休暇の取得しやすい風土を形成するための啓発活動を推進する。
- 目標2 育児などによる退職者が再度職場復帰できる環境を整備する。
- 目標3 業務効率化向上によるワークライフバランスを推進する。

◎ 目標達成の状況

- 目標1
- ・当社の育児・介護支援制度を「両立支援制度一覧」としてまとめ、管理職教育時に管理職に配布し支援制度への理解を促した。「両立支援制度一覧」においては、妊娠・出産・育児関係の法に基づく制度の他、会社独自で設けている「セーフティネット休暇」（家族の看護、配偶者の出産等のために取得可）、「不妊治療支援制度」（福祉会から上限200万円までの貸与可）等の説明を掲載し、全社共通キャビネットへ格納し閲覧できるようにした。
 - ・育児休業予定の社員に対しては、制度の取組みを明記した書面を人事総務部から本人へ送付した上で説明を行っている。
- 目標2
- ・「再就職希望社員登録制度」により、退職者にはアンケートを実施し再就業の希望等を聴取しているが、平成27年度以降退職者のアンケート結果の分析等を行い、職場復帰環境整備に向けて労使で協議を行った。
- 目標3
- ・業務効率化に向けて営業支援システムやRPA導入を検討し、入力業務削減などを目的とした改革を進めるとともに、年間カレンダーにおいて飛び石連休を連続休暇に設定し休暇の取得促進を図ったほか、フレックスタイム制度を導入（平成28年9月）し、育児短時間勤務との併用も可とするなどワークライフバランスの推進に取り組んだ。

◎ その他の取組の状況

- ・ 小学校3年生に到達する年度の3月末までの子を持つ従業員は、育児のための短時間勤務制度の措置を受けることができると規定している。

企業からのひとこと

○ 行動計画に基づく取組にあたって工夫した点

- ・ 育児・介護支援制度を一覧の形にまとめることで、一目でわかりやすく表示しました。また、一覧表は関連規定とともに格納して誰でも見られるようにし、制度利用者への説明においても活用しています。
- ・ 退職者アンケートは退職者本人から率直な声が上がると見られるよう閲覧者を限定して依頼しており、問題となる事項があればすぐに対応することとしています。
- ・ フレックスタイム制度は労使協議のうえ、2ヶ月開始を遅らせて余裕を持ってスタートさせました。また、業務効率化に対しては増員のうえ対応し、現場に密着した形で推進しています。

○ 行動計画に基づく取組の効果・課題

- ・ 育児に関する制度利用は従来からあるものの、管理者に対して一定の理解を図ることができました。なお、介護に関する制度利用はないが、これから課題になってくる社員も多くなることが予想されるため、引き続き制度の周知に加え、制度の拡充も労使で協議しながら進めていきたいです。
- ・ 退職者アンケートの内容を集約して活用することにより、今後の労使間での課題として認識し、職場環境の整備につながっています。
- ・ RPA等の導入にあたってはまだまだ全社的な活用には至っていませんが、着々と課題の解決に貢献し始めています。フレックスタイム制度については、より柔軟な働き方を進めていくうえでコアタイムの短縮あるいは廃止も今後検討していきたいです。

○ 育児関連制度を利用した男性社員の声

(経理部経理課・38歳)

- ・ 1歳になる子どもが朝方急に発熱し病院に連れて行きました。妻に任せることはできませんでしたが、不安な気持ちと一緒にいてあげたいという思いからお休みをもらいました。融通の利く職場環境に感謝しこれからも積極的に育児参加していきたいと思えます。